

<読書感想文の構成例>

<読む前の自分の紹介・この本を選んだ理由のブロック>

いつのころからか、私はニュース番組などで、〇〇が話題になると、いつも疑問に思うことがあった。それは、なぜ〇〇とは〇〇なのかということであった。

そんな私であるため、感想文用の本を選ぶ際、真っ先に浮かんだのが、この〇〇について書かれたベストセラーを読んでみることだった。

<本の概略の紹介ブロック>

この本は、これこれこういう内容の本でこういう登場人物がいて、全世界で 200 万部も売れた本だといいます。

<気になった部分とその点への自分の考えのブロック>

主人公の……は、ある日……
という事態に遭遇し、
彼は……ということになった。

すると…

その部分を読み私は…と感じた。
なぜなら…だからだ。

最近のニュースでも…
という事件が報道されたが、内容として同じようなものだと思う。

私も以前…と、主人公と同じような経験をした。その際、私は…となり、とても嫌な思いをした。

もし…
確かに…ならそうかもしれません。

しかし、私が思うにそれは…ではないかと思う。
つまり…だと考えるからだ。

また・・・の場面での主人公の何げない次の言葉にふれた際、思わずハッとさせられた。それは〇〇の場で、〇〇にそっと投げかけた「〇〇」という言葉だ。

私にとって、彼のこの言葉はこれからの人生の指針になる、まさに名言といえるものだった。

例えば・・・

多くの人はそのような状況の中では・・・と考えるに違いない。

これまでの私も、そのように考える一人だったからだ。

しかし、それは数ある考え方の一つに過ぎないのだと気づかされたのだ。

<読んだ後の自分の変化・反省点・まとめのブロック>

本書を読み、私は主人公のその場面での・・・な判断に自分に不足していた・・・を反省させられた。

作者もきっと読者に、そのような〇〇の大切さを伝え得ようと、この本を世に送り込んだに違いない。

ことわざに「・・・」というものがあるが、この言葉を残した先人も、失敗の中からこの言葉に気づいたのだと思う。

もし本書に出会えていなかったら、私はこの分野についての以前からの疑問を疑問のまま持ち続けることになっていたと思う。そのため、この言葉を残した先人と同じような失敗を私もすることになっていたかもしれない。

私は、今の年齢でこの本に出会えたことに感謝したい。この本は、そのように感じさせる教訓に満ちた作品であった。